

指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入する

指定研修機関名：

特定行為研修計画の概要

* 特定行為研修を行う特定行為区分ごとに記入して下さい。

1. 特定行為区分の名称	(例) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
2. 特定行為研修の名称(任意)	特定行為研修に「〇〇コース」といった独自の名称を付けた場合に任意で記入する。 (例) 慢性疾患コース
3. 特定行為研修の目標	施行通知別紙5を参考に申請者の実施する特定行為研修の目標を記入する。 特定行為研修は特定行為区分毎に実施されるものであるため、区分別科目の目標のみでなく 共通科目を含めた特定行為区分毎の特定行為研修目標を記入する。
4. 特定行為研修の実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 (12) ヶ月 年度内に同一の特定行為研修を複数回実施する予定がある場合は、全ての特定行為研修について、それを開始する標準的な期日を記入する。 【有の場合の例】 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の 12 ヶ月、平成 28 年の 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日までの 12 ヶ月に特定行為研修を実施する場合 * 特定行為研修を複数回実施する予定 有 ・ 無 有の場合 特定行為研修を開始する標準的な期日： 平成 28 年 4 月～ (12) ヶ月 平成 28 年 10 月～ (12) ヶ月 平成 年 月～ () ヶ月 平成 年 月～ () ヶ月 * 他の特定行為区分に係る特定行為研修を同時に実施する予定 有 ・ 無 有の場合 特定行為区分の名称： 1. に記入した区分以外の特定行為研修を行おうとする全ての区分を記入する

該当する項目を○で囲む（両方該当する場合は、両方を○で囲む）

研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする者が設置・開設する施設等の場合は、自施設に該当する。

指定研修機関名： _____

5. 共通科目（時間数の総計： 時間） ⑤の合計時間を記入する（共通科目の全ての時間数）								
* 同一の共通科目を同時に行う特定行為区分の名称 : 2区分以上の特定行為研修を行う場合は、様式1別紙1の「1. 特定行為区分の名称」に記入した特定行為区分以外全てを記入する。								
①共通科目の各科目	②独自の科目名	③研修方法			④評価		⑤時間数の合計	
		講義	演習	実習				
	独自に科目を設定した場合は独自の科目名を記入する	時間数	「時間」で記入する。1時間未満は小数点で記入する。大学等における単位数での記入は不可。					
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		施行通知別紙7に示す文言で記入する。（筆記試験、実技試験（OSCE）、各種実習の観察評価）
疾病・臨床病態概論については、施行通知別紙3で示されている時間数の内訳が分かるよう記入する。		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
(例) 疾病・臨床病態概論	(例) 疾病治療学1 (主要疾患)	時間数	40 時間	4 時間		時間数	1 時間	45 時間
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法	筆記試験	
	(例) 疾病治療学2 (年齢や状況)	時間数	10 時間	4 時間		時間数	1 時間	15 時間
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法	筆記試験	
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
		時間数				時間数		
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		

時間数は、研修計画書の時間数と一致していること。

(No.)

指定研修機関名：_____

6. 区分別科目 (時間数の総計： 時間) 区分別科目の全ての時間数を記入する。									
1) 共通して学ぶ事項について									
共通して学ぶ事項	①独自の科目名	②研修方法			③評価		④時間数の合計		
			講義	演習					実習
	独自に科目を設定した場合は 独自の科目名を記入する。	時間数	「時間」で記入する。1 時間未満は小数点で記入する。大学等における単位数での記入は不可。						
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法			
		時間数				時間数			
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法			
		時間数				時間数			
場所		自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法				
2) 特定行為ごとに学ぶ事項について									
特定行為ごとに学ぶ事項	①特定行為名	②独自の科目名	③研修方法			④評価		⑤時間数の合計	
				講義	演習				実習
		独自に科目を設定した場合は 当該科目名を記入する。	時間数	「時間」で記入する。1 時間未満は小数点で記入する。大学等における単位数での記入は不可。					
			場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
			時間数				時間数		
			場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法		
			時間数				時間数		
場所			自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法			
		時間数				時間数			
		場所	自施設・協力施設	自施設・協力施設	自施設・協力施設	方法			

該当する項目を○で囲む（両方該当する場合は、両方を○で囲む）。

研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする者が設置・開設する施設等の場合は、自施設に該当する。

(No.)

指定研修機関名 : _____

7. 通信による方法で行う場合はその内容及び方法								
通信により行うすべての科目について記入する。								
科目	教育内容	時間数	研修方法				添削指導 有：○	指導補助者 有：○
			印刷教材 有：○	放送 有：○	メディア利用 有：○	面接授業 有：○		
共有科目の各科目又は区分別科目の科目名(独自に科目を設定した場合は独自の科目名)を記入する。	各科目の講義又は演習のうち、通信で行う教育内容と時間数についてのみ記入する。評価(筆記試験)を通信で行う場合は、教育内容及び時間数に含めて記入する。	内容と時間数についてのみ記入する。評価(筆記試験)を通信で行う場合は、教育内容及び時間数に含めて記入する。				通信授業とあわせて対面授業を行う場合は、有に該当する。	印刷教材による授業及び放送授業の場合は、あわせて添削指導を行う必要がある。	メディアを利用して授業を行う場合で、指導者の他に指導補助者を配置配置する場合は、有に該当する。
			該当しない場合は何も記載しない。					
8. 進捗表		* 本用紙に添付すること(様式自由)						
添付資料番号と文書名を記入する。 各区分のこの記入欄に添付資料番号と文書名を記入した場合は、進捗表は1枚の提出で良い。								

備考

- 1 本用紙は、特定行為研修を行う特定行為区分ごとに記入すること。
- 2 本用紙右上の「指定研修機関名」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入すること。
- 3 「2. 特定行為研修の名称（任意）」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等において、行おうとする特定行為研修に独自の名称を付けた場合に任意で記入すること。
- 4 「4. 特定行為研修の実施期間」は、年度内に同一の特定行為研修を複数回実施する予定がある場合は、全ての特定行為研修について、それを開始する標準的な期日を記入すること。
- 5 「5. 共通科目」及び「6. 区分別科目」の「時間数の総計」は、共通科目又は区分別科目の全ての時間数の総計を記入すること。
- 6 「5. 共通科目」の「* 同一の共通科目を同時に行う特定行為区分の名称」は、2以上の特定行為区分に係る特定行為研修を行う場合であって、その共通科目が重複し、かつ、その共通科目を同時に行うときに、該当する特定行為区分を全て記入すること。なお、その際、「5. 共通科目」の「時間数の総計」及び「①共通科目の各科目」～「⑤時間数の合計」には、いずれか1つの特定行為区分について記入することとし、その他の特定行為区分については、「* 同一の共通科目を同時に行う特定行為区分の名称」以外の項目（「時間数の総計」及び「①共通科目の各科目」～「⑤時間数の合計」）の記入は不要であること。
- 7 「5. 共通科目」の「②独自の科目名」並びに「6. 区分別科目」の「1）共通して学ぶ事項について」の「①独自の科目名」及び「2）特定行為ごとに学ぶ事項について」の「②独自の科目名」は、独自に科目を設定した場合に当該科目名を記入すること。
- 8 「5. 共通科目」の「③研修方法」並びに「6. 区分別科目」の「1）共通して学ぶ事項について」の「②研修方法」及び「2）特定行為ごとに学ぶ事項について」の「③研修方法」は、自施設又は協力施設の該当する項目に○を記入すること（両方該当する場合は、両方に○を記入すること）。なお、当該場所が、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の場合は、自施設に○を記入すること。
- 9 「7. 通信による方法で行う場合はその内容及び方法」は、通信による方法で特定行為研修を行う場合について、通信により行う全ての科目について記入すること。「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。また、「研修方法」、「添削指導」及び「指導補助者」は、それぞれ「有」の場合に○を記入すること。
- 10 本用紙には、特定行為研修を行う特定行為区分ごとに進度表を添付すること。
- 11 記入欄が足りない場合は、当該用紙を複写して記入するとともに、「(No.)」に通し番号を記入すること。